

“白バラ”は
明るい選挙の
シンボルです。



選挙季報

第100号

発行 新宿区明るい選挙推進協議会・新宿区選挙管理委員会 〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1 ☎5273-3740
ホームページ ● <https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index10.html> 新宿区公式X(旧ツイッター)アカウント ● @shinjuku_senkan(新宿区選挙管理委員会)

令和6年度 模擬選挙授業の実施報告

小学校1校から始まった模擬選挙授業は、多くの方のご協力により実施校数を伸ばし、今年度も小学校・高校・養護学校あわせて合計27校で実施しました。内容は講義を通して選挙の仕組みや大切さを学びます。その後、児童が立候補者となり、学校生活の改善、給食のメニュー、地域の課題など多岐にわたるテーマで演説を行います。そして、実際の選挙と同じように投票し、開票を経て当選者を決定します。体験型の学習だからこそ、選挙を身近に感じながら、意見を持ち、選ぶことの大切さを学ぶことができます。今号では年度後半の様子をお届けします。

令和7年1月17日／戸塚第一小学校



2 候補者・政党演説
講義の後は、候補者・政党党首の熱のこもった演説が始まります。
党首が一人で演説を行う学校、グループ内で役割を決めて複数で演説を行う学校等、形態は様々です。
たすきをかけて、マイクを握りしめる姿は、本物の候補者そのもの。聴く側にも緊張感が伝わってきます。

令和6年12月24日／落合第四小学校



1 選挙に関する講義
選管職員が、図やイラストを豊富に盛り込んだパワーポイントを駆使して、質問やクイズを織り交ぜながら、選挙に関する講義を行いました。
講義の内容は、政治家の仕事、選挙の種類、日本の選挙の歴史、投票率の現状等から構成され、一票の大切さについて学びます。

令和6年11月29日／四谷第六小学校



演説は、政策を書いた模造紙を掲げて行う児童に加え、最近では、自作のパワーポイントを使って、プレゼン形式で行う児童も増えてきました。
その他、政党のマスコットを作ったり、お揃いの衣装で団結力をアピールするなど聴衆に強く印象付けるための工夫が凝らされた、ユニークな学校も見られました。

令和7年1月25日／東戸山小学校



また、選挙で候補者や政党等を選ぶことが、自分達の生活にいかに関わっているのかを知り、選挙に行くことの重要性を、身近な具体例とともに感じてもらいます。
そして最後に「18歳になるまでに自分ができること」とについて考えます。
どの学校の児童も、質問に対して積極的に挙手をし、主体的に参加していました。

令和6年12月5日／市谷小学校



4 開票・結果発表
開票作業では、仕分けトレイを使用して、児童2〜3名に、実際に分類作業を体験してもらいました。
その後は、投票用紙の枚数を数える本物の「投票用紙計数機」を使用して、得票数を確定させます。
開票管理者席では、本番と同様、選挙管理委員会の委員が見守ります。

令和7年1月18日／戸塚第二小学校



3 投票体験
演説が終わると投票が始まります。投票箱や記載台、投票用紙の材質まで、本物を使用して、リアルな「選挙」を体験してもらいます。
投票所の投票管理者には、実際の選挙でもご協力をいただいている明るい選挙推進委員の方々に出席を依頼しています。

令和7年2月21日／落合第二小学校



開票中も、待機中の児童を決して飽きさせません。選管職員による豆知識の時間を設けています。開票が如何に厳格な手続きで行われているのか、どのくらい時間がかかるのかなど。与えられた2コマの時間を最大限に活用します。
最後に結果発表とまとめを行って終了となります。

令和6年12月6日／早稲田小学校



投票の手順は、デモ形式でわかりやすく説明。投票用紙を受け取ってから、投票箱に投函するまでの一連の流れについて、順を追って説明していきます。
また、児童2名には、投票を見守る役割である投票立会人を体験してもらい、選挙の「管理」も体験することが出来ます。



令和7年1月13日
はたちのつどい
令和7年1月13日、二十歳になられた方々を祝う「はたちのつどい」が京王プラザホテルで開催されました。晴れやかな衣装に身を包み、同級生との久しぶりの再会に喜ぶ姿も。昨年同様に選挙啓発ブースでは、投票立会人の募集や選挙啓発用ポスターモデルの写真撮影を行いました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。今後のご活躍をお祈りいたします。

新任 明るい選挙推進委員のご紹介

令和6年4月から、新たに16名の方が、明るい選挙推進委員に就任されました。

新任の方から、今後の活動にあたっての抱負や、「明るい選挙」に対する想いなどを投稿していただきました。【敬称略】

石井



裕（四谷地区） 選挙権を得て間もない若者や、これから選挙権を持つことになる生徒達に、選挙で投じる票の大切さ、自分の将来の生活、子どもや孫の代の社会の在り方を選び決めていくのだということを「明るい選挙推進委員」として積極的に啓発していきたいと思っています。

大石



久仁子（四谷地区） 今年度から前任者の推薦により、新任として「明るい選挙推進委員」となりました。今までは漠然と投票に行っていましたでしたが、今後は明るい選挙推進運動の目的を認識し、地域の皆様に積極的に投票に行っていたらいいように、啓発活動に励んでいきたいと考えております。よろしく願いいたします。

青木



英一（簗筒町地区） 新宿区で暮らし始めてから十数年経ちますが、忙しさや転勤の繰り返しにかけ、身近な地域のことについて、ほとんど関心を払ってきませんでした。その罪滅ぼしと言うのは言い過ぎですが、退職を機に自分の足元を見つめ直すことにしました。報道の仕事が長かったので、その経験を生かして恩返しができる幸いです。

篠崎



英政（大久保地区） 私は、明るい選挙推進委員として、公正、公平で誰もがが行ける選挙の運営、維持、そして、特に選挙に行かない人や若い人に、生活するにあたり選挙の大切さや将来の人の為にも、参加することの意義を一人でも多くの人に伝えていきたいと思っています。これからも皆様の協力とともに、頑張っていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

平田



久子（大久保地区） 子どもの頃、曾祖父母が正装をして選挙に行く姿を今でも思い出します。選挙に参加出来る喜びが伝わってきた気がしたものです。そして、今回明るい選挙推進委員としての立場となり身が引き締まる思いです。多くの皆様に選挙に関心を持っていただけるようお役に立てればよいと思っています。

田代



尚子（大久保地区） はじめまして。この度ご縁がありまして明るい選挙推進委員をお引き受けすることになりました。私自身あまり関心のなかった選挙ですが、これを機会に勉強させていただきます、皆さんが関心を持ち、そして参加しやすい選挙の

お手伝いをさせていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

桐谷



のぶえ（大久保地区） 何をするのかも分からず、立会人を引き受けた浅はかな自分という始まりでしたが、研修会等で選挙時啓発の大切さと推進委員の目的や業務が少しずつ見えてきました。また、従事職員の方々と協力し、投票所の準備・運営がされていること、細部に渡り、有権者側の視点を大事にしている事を知りました。まだまだ、知り得ぬ事が多くありますが、少しでもお役に立ち、沢山の方々や次世代の子供たちへ伝えていこうと思います。

芳賀

美知代（戸塚地区） 本年度より、明るい選挙推進委員をお引き受けすることになりました。選挙には、何となく行っていたのですが、今日のご縁をきっかけに皆様と一緒に活動させていただく中で、選挙がより身近になる活動のお手伝いが出来れば良いなと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

代田



章（落合第一地区） この度、明るい選挙推進委員をお引き受けすることになりました。近隣にお住いの有権者の方々、また将来有権者となるお子様たちに、選挙の目的や有権者であることの素晴らしい価値を、微力ながらお伝えしていければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

白井



雅恵（落合第一地区） 大先輩の推進委員さんより、ご縁がありバトンを受けさせて頂く事になりました。お引き受けするに当たり自分の住んでいる地域の政治を考えるきっかけにもなりました。お役事に立てますように学ばせて頂きます。小さな関心事が大きな関心事へと繋がっていくお手伝いが出来れば嬉しいです。何卒宜しくお願いいたします。

辻井

真紀（落合第二地区） 日本では、選挙が近づく当たり前のように、投票所整理券が届きます。ですが、世界に目を向けるとそれは当たり前ではないと感じていました。この度、明るい選挙推進委員に携わらせて頂く事で、日本の選挙が優れていることを学ばせて頂きました。それは、これからこの国で生きていく若い人達へ繋ぐべき財産であると思いました。微力ながら私に出来ることは何か。それを考えながら活動に参加させて頂きたいと思っています。

山本

ひとみ（落合第二地区） この度、明るい選挙推進委員をお引き受けすることになりました。未来を創っていく若い世代の方に投票する大切さを伝えられるよう微力ではございますが、皆様とともにお手伝いさせていただきますと思います。

會田



葉子（柏木地区） この度、明るい選挙推進委員をお引き受けすることとなりました。今まで「選挙があるから投票に行く」と受け身の姿勢でいたが、総会での委員の方々の意識の高さ、積極性を目のあたりにし、私自身も気持ちを改めなければと感じました。微力ながらお役に立てるよう努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

勝浦



朱美（柏木地区） 長年、明るい選挙推進協議会でのご活躍されていた先輩の後を受け活動させていただくことになりました。これからの社会を作る選挙に、より多くの方が関心を持って投票に行っていたらいいように広報活動も皆様と一緒に頑張っていきたいと思っています。

星野

元貴（角筈地区） 選挙に対する心掛け、日頃から選挙啓発活動に向けての小さな思い、人と話しをするときには、いつも投票の大切さを伝えられる様、心掛けを持って過ごしていきたいと思います。啓発用に良いポスター等を街角に年間を通して掲示できればという思いがあります。これからも一票の大切さを皆様に伝えていくことが一番の事だと信じてやみません。

『選挙季報』は100号を迎えました

『選挙季報』は今号で100号を迎えました。第1号の発行は昭和55年5月、当初は白黒印刷B5判4ページで年4回の発行でした。新宿区での様々な選挙啓発活動をご報告して約45年、現在は明るい選挙啓発ポスターコンクール入賞作品や「はたちのつどい」での啓発の様子などをカラー版でお知らせしています。『選挙季報』では今後も明るい選挙を進めるための情報をお知らせしていきます。



明るい選挙推進協議会委員を退任された方

井上美那子（柏木地区）

明るい選挙推進委員を退任された方

田村さよ子（四谷地区） 井田 紀雄（戸塚地区）
中本 邦江（四谷地区） 竹内 稔（落合第一地区）
木下 功子（四谷地区） 宇田川 亨（落合第一地区）
宮田 和夫（大久保地区） 大関 正子（落合第二地区）
城 幸子（大久保地区） 鈴木 朋子（落合第二地区）
岩松 洋子（大久保地区） 榎本 洋子（柏木地区）
谷 民子（大久保地区） 網中美智栄（角筈地区）
ご活躍、ありがとうございました。

新任の明るい選挙推進協議会委員のご紹介

今年度、新たに2名の方が委嘱されました。

福本 京子（戸塚地区） 石川千衣子（柏木地区）

【敬称略】

編集後記

今年度後期の季報をお届けします。今年も例年どおり、発行できることは担当者として嬉しく思います。

また、今号の季報は通算100号の記念の号です。小さなスペースにこの季報の簡単な歴史を載せていますので、ご照覧下さい。そして、今年は昭和100年。共通の100年に何か記念の年となりそうです。

上記の季報の歴史でも触れていますが、創刊号は昭和55年で、約45年の長きにわたり発行してまいりました。現在は1年に2回の発行ではありますが、時には多くの発行回数、また時にはそうではない年もあり、その中で社会が好調な時、またパンデミックになったりしまして、平坦な道ではなかったかと思えます。

このような状況の中でもつづがなく発行できたことは、ひとえに皆様方のご理解と関係者各位のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。これを通過点として、よりよい紙面づくりに邁進してまいりたいと思っています。

編集長 勝元 秀男（大久保地区）
編集委員 西村由美子（簗筒町地区）
編集委員 岡崎 智子（榎町地区）
編集委員 大野 猛（若松町地区）
編集委員 水越 和子（柏木地区）
編集委員 山本 浩（角筈地区）

明るい選挙推進運動 特別永年功労者表彰

20年表彰	宮田 和夫（大久保地区）
	伊藤早智子（落合第一地区）
	宇田川 亨（落合第一地区）
	金子 和子（落合第一地区）
10年表彰	千野 亨典（四谷地区）
	庄司 和徳（榎町地区）
	宮家 芳文（若松町地区）
	福本 京子（戸塚地区）
	森本 佳子（戸塚地区）
	田中 敦子（落合第一地区）
	渡邊 陽子（落合第二地区）
石川千衣子（柏木地区）	

長きにわたるご活躍に感謝いたします。【敬称略】

『選挙季報』第100号に寄せて

私たち新宿区明るい選挙推進協議会は「選挙はまちづくり」の旗印のもと、「地域センターまつり」等での啓発や模擬選挙授業などを通じて「地域の一員として、私たちの住むまちをより良くしよう」というメッセージを訴えています。各地区の明るい選挙推進委員は、それぞれの地域特性を踏まえて活動しています。このたび『選挙季報』は100号を迎えます。私たちは「明るい選挙の推進を通じたまちづくり」に向け着々と進んでいます。これからも皆様に私たちの活動をご報告していきたいと思っています。

新宿区明るい選挙推進協議会会長 神山 清英